

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス わんらいふ			
○保護者評価実施期間	2025年3月1日 ～ 2025年5月15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数)	14名
○従業者評価実施期間	2025年3月1日 ～ 2025年5月15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年5月25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用している子供たちやご家族にとっても、安心で きる居場所となる様にしている。	子ども達の要望を傾聴しながら、できるだけ取り入 れながら活動をしている。 子供たちの話を聞いて、共感を大切にしながら一緒 に見透しを立てる支援を心がけている。	個々の空間を確保し安心して過ごせるように配慮 する。
2	子ども達の成長が実感（共有）できる。	・児童それぞれが自分で出来る事を継続可能な支援 をする事で、自信に繋げ意欲向上できる様に支援し ている	・子ども達の発達状況の把握に努め、情報共有を 継続しながら、子供たちに自身の目標達成の喜び を分かち合える様にする
3	事業所周辺に公園・広場・公民館等、いつでも使える 場所がある	・公共施設（公園や広場など）を使用しながら、近 隣の児童との交流が行われている	・地域交流の機会を増やし、集団への適応能力を 高める支援を継続する

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペ アレント・トレーニング等)や家族等も参加できる 研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	事業所で家族支援プログラムが実施できていない。 情報収集が足りず、研修会の案内が行き届いていな い。	外部から情報収集をして、保護者に提供できる様にしてい く。保護者が求めている事を聞き取り・把握する必要がある ため、定期的な面談等の際に確認する。
2	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開 催する等により、保護者同士で交流する機会を設け る等の支援をしているか。また、きょうだい同士で 交流する機会を設ける等の支援をしているか。	令和6年中は、家族会の開催ができなかった。	令和7年は、家族会を開催できるように調整す る。
3	職員の人材育成	療育現場において、個々に対する適切な支援方法が 支援する職員によってばらつきがある。 支援方法がわからずに、対応に困惑する場面があ る。	・児童発達支援管理責任者による、個別指導を実施。 ・職員の要望を聞きながら、職員研修の充実を図る。 ・外部の研修等に積極的意に参加し、他職員への周知を図 る。 ・相談する場を定期的に設けて、コミュニケーションを多く 図る。